

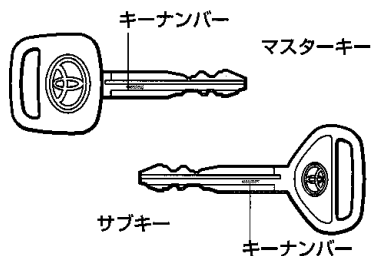
3 操作装置

- 各部の開閉 62
- 各部の調整 74
- メーター、表示灯、警告灯の見方 78
- 視界の確保 94
- 運転装置 102

各部の開閉

キー

- キーはドアの施錠・解錠のほか、エンジンの始動・停止に使います。
- マスターキーが2枚とサブキーが1枚あります。
- ワイヤレスドアロック付き車はリモコンスイッチ付きのキーが装着されます。
(65ページ参照)



万一、キーを紛失したときのために、キーナンバーを手帳などにひかえておいてください。キーナンバーからトヨタ販売店で純正のキーを作ることができます。

知識

サブキーではトランク・グローブボックスを施錠・解錠することはできません。

ドア

■キーを使っでの施錠と解錠 (フロントドア)

キーを車両前方にまわすと施錠、後方にまわすと解錠されます。

知識

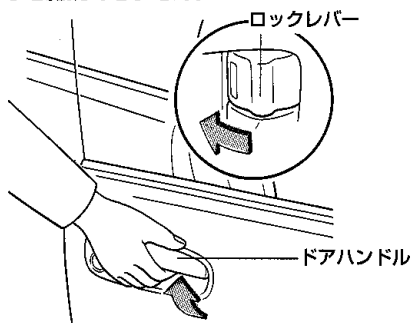
運転席ドアでキーを解錠側いっぱいにもわしたまま保持すると運転席ドアガラスが開き、キーを施錠側いっぱいにもわしたまま保持すると、運転席ドアガラスが閉まります。

■ロックレバーでの施錠と解錠

- ロックレバーを前方に押し込むと施錠し、後方に引き出すと解錠されます。
- 運転席ドアはロックレバーが施錠側に押し込まれていても車内のドアレバーを引くとドアが開きます。

■キーを使わずに施錠するには

- フロントドアはロックレバーを施錠側にして、ドアハンドルを引き上げたままドアを閉めます。
エンジンスイッチにキーが差し込まれていると施錠できません。



- リヤドアはロックレバーを施錠側にして、ドアを閉めます。

⚠ 注意

走行する前に全てのドアが確実に閉まっていることを確認してください。ドアが確実に閉まっていないと走行中にドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

車から離れるときは、必ずエンジンを止め施錠することが法的に義務づけられています。また、施錠していても車内に貴重品などを置かないようにしましょう。

キー抜き忘れ防止チャイム

エンジンスイッチがLOCKまたはACCの位置のとき運転席ドアを開けると、キーの抜き忘れを警告するチャイムが鳴りません。

🎓 知識

キーの閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

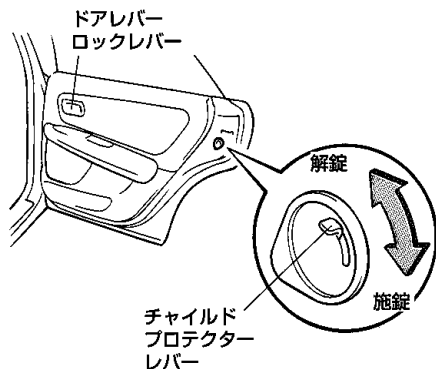
エンジンキー照明★

ドアの開閉と連動してエンジンキー照明・室内灯が点灯・消灯します。ドアを開けると点灯し、閉じると約15秒後に消灯します。(イルミネーテッドエントリーシステム)

詳しい作動条件は154ページを参照してください。

チャイルドプロテクター

チャイルドプロテクターレバーを施錠側にしてドアを閉めると、ロックレバーの位置に関係なく、車内のドアレバーではリヤドアを開けることはできません。お子さまを乗せるときにご使用ください。



■チャイルドプロテクターがはたらいているときのドアの開け方

ロックレバーを解錠状態にして、車外からドアハンドルを引くとドアは開きません。

■万一のときの車内からの開け方

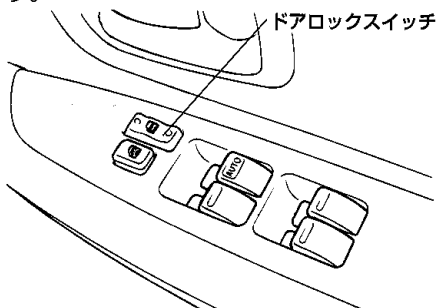
ドアガラスを下げ、ロックレバーが施錠されている場合はロックレバーを解錠状態にして、手を外に出してドアハンドルを引くと開きます。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

電気式ドアロック

すべてのドアの施錠・解錠が運転席で同時にできます。

エンジンスイッチに関係なく使用できます。



■ドアロックスイッチを使っての施錠と解錠

スイッチの前側を押すと施錠、うしろ側を押すと解錠されます。

知識

スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチから指を離し、押しなおしてください。

■キーを使っての施錠と解錠

運転席ドアにキーを差し込んでキーを車両前方にまわすと施錠、後方にまわすと解錠されます。

●すべてのドアの施錠、解錠ができます。

■車速感応オートドアロック★

車速が約20km/h以上になると自動的に施錠されます。

知識

車速感応オートドアロック機能を解除することもできます。トヨタ販売店にご相談ください。

■キー閉じ込み防止機能

エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき、または運転席ドアが開いているときは、運転席ドアを電気式ドアロックスイッチやロックレバーにより、施錠しようとしても施錠できません。

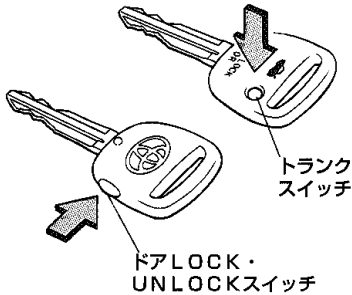
■衝撃感知ドアロック解除システム★

車両が前後左右から強い衝撃を受けると自動的に全ドアのロックが解除されます。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

ワイレスドアロック★

電波により、車から離れたところ(約1m)から全ドアの施錠・解錠およびトランクを開けることができます。



■ドアの施錠・解錠

LOCK・UNLOCKスイッチを押すごとに施錠、解錠されます。

- スイッチはゆっくりと確実に押してください。
- スイッチを押し続けても、ドアの施錠、解錠は繰り返されません。スイッチを押しなおしてください。

■知識

- リモコンスイッチは、周囲の状況により作動可能距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車へ約1mまで近づいて操作してください。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき、またはいずれかのドアが開いているときは作動しません。
- リモコンスイッチを押して解錠操作をしたあと、約30秒以内にドアを開けなかったときは、自動的に施錠されます。
- リモコンスイッチを押して施錠操作したときは、必ず施錠作動したことを確認してください。
- リモコンスイッチは、同じ車両で最大4個まで使用することができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■トランクの解錠

トランクスイッチを約1秒間押し続けると、トランクが解錠されます。

- トランクスイッチはゆっくりと確実に押してください。
- トランクスイッチを約1秒以上押し続けても解錠を繰り返しません。スイッチを押しなおしてください。

■知識

エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは作動しません。

■アドバイス

- リモコンスイッチを押しても作動しない場合、または著しく作動可能距離が短くなった場合、電池の消耗が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- リモコンスイッチは電子部品です。故障の原因となりますので、以下のことをお守りください。
 - ダッシュボードの上など、高温になる所に放置しないでください。
 - 分解しないでください。
 - 落としたり、強い衝撃をあてないでください。
 - 水にぬらさないでください。
- リヤウインドウガラスのアンテナ線部に次の物を貼りつけないでください。リヤウインドウガラスのアンテナ線でリモコンスイッチからの電波を受信しているため、受信感度が低下し、ワイレスドアロックが作動しなくなるおそれがあります。
 - 金属を含有するウインドウフィルム
 - その他の金属物
(トヨタ純正品以外のアンテナなど)
- リモコンスイッチを紛失したときは、盗難・事故などを防ぐため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

パワーウィンドウ

⚠ 警告

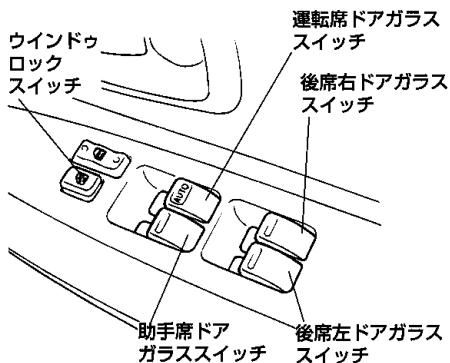
ドアガラスを閉めるときは、他の人の手や頭などをはさまないように注意してください。ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

運転席スイッチ

スイッチ操作でドアガラスの開閉ができます。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

運転席スイッチですべてのドアガラスの開閉が行えます。運転席・助手席ドアガラスはスイッチ操作により自動で開けることもできます。



- ドアガラスを開けるときは**
スイッチを押している間、開きます。スイッチから手を離すと、その位置で停止します。
- ドアガラスを閉めるときは**
スイッチを引いている間、閉まります。スイッチから手を離すと、その位置で停止します。
- 運転席・助手席ドアガラスを自動で開けるときは**
 - 全開するときには、スイッチを強く押し、手を離します。途中で止めたいときはスイッチを軽く引き上げます。
- 運転席ドアガラスを自動で閉めるときは**
 - 全閉するときにはスイッチを強く引き上げて手を離します。途中で止めたいときはスイッチを軽く押します。

🎓 知識

助手席ドアガラスを自動で閉めることはできません。

助手席・後席スイッチ

スイッチ操作でドアガラスの開閉ができます。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

スイッチを押している間は開き、引いている間は閉まります。

スイッチから手を離すと、その位置で停止します。

ただしウインドゥロックスイッチがONになっているときは、スイッチを押しても作動しません。



アドバイス

- 運転席スイッチと他のスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。パワーウインドゥの故障の原因になります。
- ドアガラスの全開、全閉後に同じ方向にスイッチを押し続けしないでください。パワーウインドゥの故障の原因になります。

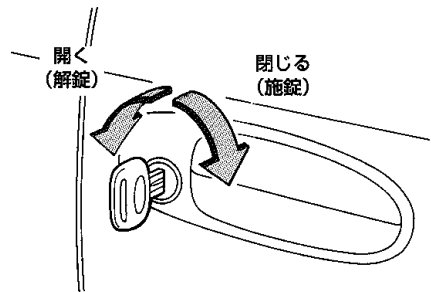
キーOFF後作動機能

運転席ドアガラスは、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとでも約45秒間は開閉することができます。

ただしエンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとの約45秒間に、運転席ドアを開けてから、いったん閉めるとガラスの開閉はできなくなります。

ドアキー連動開閉機構

運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込み、解錠側へいっぱいにまわしたまま保持すると運転席ドアガラスが開き、施錠側へいっぱいにまわしたまま保持すると運転席ドアガラスが閉じます。



アドバイス

窓ガラスの全開、全閉後に同じ方向にキーをまわし続けしないでください。パワーウインドゥの故障の原因になります。

挟み込み防止機構

運転席ドアガラスを閉めるときに、窓枠とドアガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、ドアガラスの上昇が停止し、自動で少し開き、停止します。

⚠ 注意

ドアガラスを確実に閉めるため、閉じ切り直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まないように注意してください。



アドバイス

故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、運転席ドアガラスを自動で閉じれないときは、スイッチを引き続けると閉じることができます。

🎓 知識

- 挟み込み防止機構は、ドアガラスを運転席スイッチにより自動で閉めているときと、キーOFF後作動中やドアキー操作によりドアガラスを閉めているときに作動します。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃や荷重がドアガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

ウィンドウロックスイッチ

ウィンドウロックスイッチをONにすると運転席ドアガラス以外のパワーウィンドウは作動しません。お子さまを乗せるときなどにご使用ください。スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

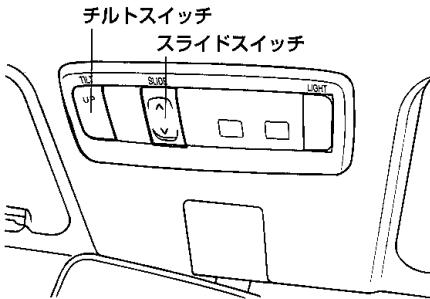
ウィンドウロックスイッチ	運転席スイッチ	助手席、後席スイッチ
ON	運転席ドアガラスの開閉ができます。	開閉できません。
OFF	すべてのドアガラスの開閉ができます。	開閉できません。

UVカットガラス

各ドアガラスとバックウィンドウガラスには紫外線をカットするUVカットガラスが使われています。

ムーンルーフ★

エンジンスイッチがONのとき使用できません。



⚠ 警告

- ルーフを閉めるときは他の人の手や顔などをはさまないように注意してください。ルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 走行中はルーフから手や顔を出さないでください。車外の物などに当たったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 開口部に腰かけないでください。ルーフがへこんだり、万一のとき車から投げ出され、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

ルーフから荷物がはみ出さないようにしてください。車外の物に当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- 車から離れるときや、洗車時には完全に閉まっていることを確認しましょう。
- ルーフ上に水や雪がないことを確認してから開けましょう。水や雪がある状態で開けると、室内に水や雪が入り、ぬれることがあります。

スライド開閉

■開けるときは

スライドスイッチのうしろ側を押すとムーンルーフが自動で開きます。

- 途中で止めるにはスライドスイッチまたはチルトスイッチを押します。

室内への風の巻き込みを防ぐディフレクターが自動的に上がります。

■閉めるときは

スライドスイッチの前側を押すとムーンルーフが自動で閉まります。

- 途中で止めるにはスライドスイッチまたはチルトスイッチを押します。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

無断複製禁止

チルトアップ/チルトダウン

■チルトアップするときは

ムーンルーフが閉まっているとき、チルトスイッチのうしろ側を押すと自動でチルトアップします。

- 途中で止めるにはスライドスイッチまたはチルトスイッチを押します。

■チルトダウンするときは

チルトアップしてるとき、チルトスイッチの前側を押すと自動でチルトダウンします。

- 途中で止めるにはスライドスイッチまたはチルトスイッチを押します。



アドバイス

ムーンルーフを全開、全閉したあとにスイッチを押し続けしないでください。ムーンルーフの故障の原因になります。

キーOFF後作動機能

ムーンルーフは、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとでも約45秒間は開閉することができます。ただしエンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとの約45秒間に、運転席ドアを開けてから、いったん閉めるとムーンルーフの開閉はできなくなります。

サンシェード

- 手動で開閉できます。
- ムーンルーフを開けると連動して開きます。

挟み込み防止機構

ムーンルーフを自動でスライドして閉めるときと、自動でチルトダウンするとき、ルーフが異物の挟み込みを感知すると、作動を停止し、自動で少し開き、停止します。

注意

ムーンルーフを確実に閉めるため、閉じ切り直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まないように注意してください。



アドバイス

故障などで挟み込み防止機構が作動してしまいルーフが閉じられないときは、スイッチを押し続けると閉めることができます。



知識

- 挟み込み防止機構は、キーOFF後作動でムーンルーフを閉じているときにも作動します。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃や荷重がムーンルーフに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

トランク

⚠ 警告


- 人を絶対に乗せないでください。急なブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- トランクは中から開けることができません。お子さまがはいらないように注意してください。閉じ込められると重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

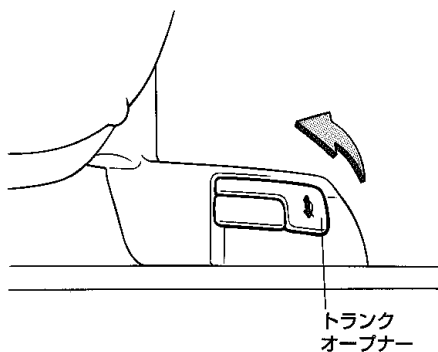
■車外からの開け方

マスターキーを差し込み、右にまわすと開きます。

サブキーでは解錠できません。

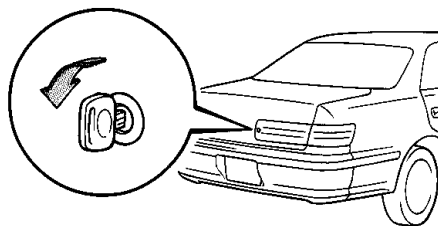
■車内からの開け方

トランクオープナー  を引くと開きます。



■施錠のしかた

マスターキーを差し込み、左にまわすと室内のトランクオープナーで開かないようにすることができます。
サブキーでは施錠できません。



■トランク灯

トランクを開けると、トランク灯が点灯します。



アドバイス


エンジンを停止しているときは、トランクを長時間開けたままにしないでください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。



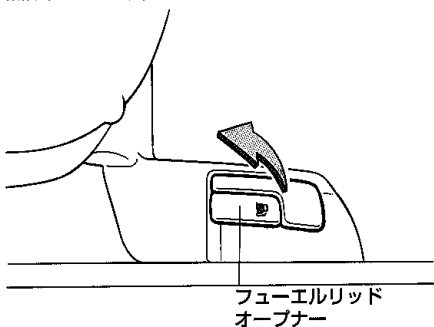
知識

- ワイヤレスドアロック付き車は、リモコンスイッチを使ってもトランクを開けることができます。(65ページ参照)
- 盗難を防ぐため、貴重品を置かないようにしましょう。

フューエルリッド (燃料補給口)

フューエルリッドオープナー  を引くと開きます。

燃料タンク容量は70ℓです。



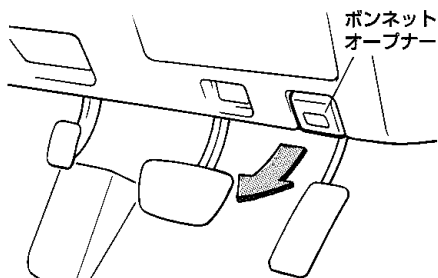
⚠ 警告

- 燃料補給時には次のことを必ずお守りください。燃料は引火しやすいため、守らないと火災になるおそれがあり危険です。
 - エンジンは必ず止めてください。
 - タバコを吸うなど火気を近づけないでください。
- 急激にフューエルキャップを開けないでください。燃料補給口部より吹き返しが発生し、重大な傷害を受けたり、火災になるおそれがあり危険です。
- フューエルキャップの取り扱いについては次のことも必ずお守りください。守らないと燃料漏れを起こし、火災になるおそれがあり危険です。
 - 燃料補給後はフューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
 - 車にあったトヨタ純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。

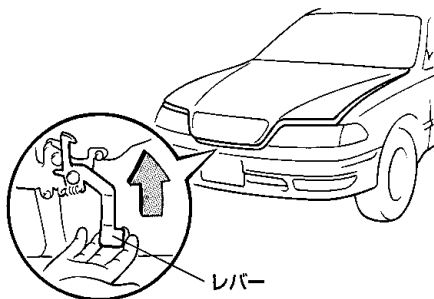
ボンネット

■開けるときは

- 1 運転席インストルメントパネル右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 ボンネットのすき間に手をいれ、レバーを押し上げ、ボンネットフックをはずして持ち上げます。



■閉めるときは

- 1 ボンネットをおろします。
- 2 前端を押さえつけロックします。

⚠ 注意

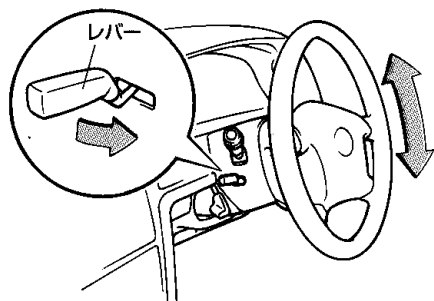
走行前にボンネットが確実にロックされていることを必ず確認してください。ロックせずに走行するとボンネットが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

各部の調整

ハンドル

■上下調整のしかた

ハンドルを持ったまま上下調整レバーをいっぱい引き、ハンドルを適切な位置にして、上下調整レバーから手を離せば固定されます。

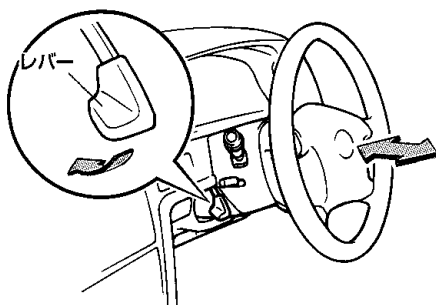


■はね上げのしかた

ハンドルから手を離して上下調整レバーをいっぱい引くと、ハンドル全体がはね上がります。

■前後調整のしかた★

前後調整レバーを押し下げて、ハンドルを前後に動かし適切な位置にして、レバーを引き上げれば固定できます。



⚠ 警告

- 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

インナーミラー (ルームミラー)

インナーミラーは後続車のヘッドライトがまぶしいときには、切り替えることができる妨眩ミラーです。

通常はミラー下側のレバーを前方に押し込んだ状態で使用します。

後続車のヘッドライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

注意

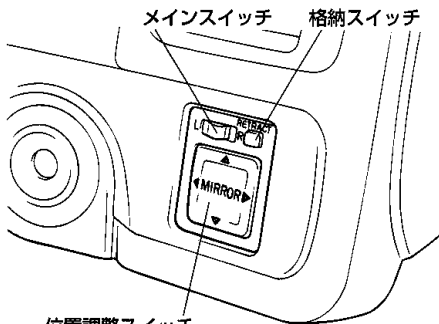
走行中はミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアミラー

■鏡面調整のしかた

エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

- 1 メインスイッチを右側（R）または左側（L）に動かします。
- 2 位置調整スイッチでミラーの角度を調整します。
- 3 調整したあとはメインスイッチを中立の位置にもどします。



位置調整スイッチ

⚠ 注意

- 走行中は、ミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります。



知識

ドアミラーはフェンダーミラーと比べ次の点で異なります。

- ミラーの張り出しが約10cm大きくなります。
- ミラーに映る物の距離感覚が違います。（ドアミラーの方が物が近くに見えます。）

■ドアミラーの格納・復帰

電動格納式ドアミラー付き車

ミラーを後方に倒すことができます。エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

格納スイッチを押すごとにON（格納）とOFF（復帰）に切り替わります。

	スイッチの状態	ミラーの状態
ON (格納)		
OFF (復帰)		

- エンジンスイッチがLOCKのときは、手動で操作することもできます。
- 次の場合は、ミラーを手動で操作しても、ミラーはスイッチの状態になりません。
 - エンジンスイッチがACCまたはONのとき
 - 手動で操作したあとにエンジンスイッチをACCまたはONにしたとき

(例) 格納スイッチがOFF、エンジンスイッチがLOCKの状態で、手でミラーを格納したとき、エンジンスイッチをACCまたはONにするとミラーは復帰します。



知識

ミラー格納作動中に、エンジンスイッチをLOCKの位置にすると格納作動が停止します。

⚠ 注意

ミラーが動いているときは手を触れたりしないでください。手をはさんでけがをしたり、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

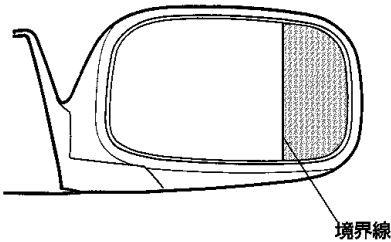
電動格納式ドアミラー付き車を除く

ミラーを手で後方に倒して格納します。走行前には、“カチッ”と音がするところまで必ずもどしてください。

ワイドビュードアミラー

ツアラーV、ツアラーS、ツアラー★

ワイドビュードアミラーは、境界線の内側と外側で曲率を変えたもので、境界線の内側は通常のドアミラーと同じですが、境界線より外側は通常のドアミラーよりも視界が広い範囲まで確保できるようになっています。



🎓 知識

ミラーの内側と外側では、映る物の距離感が異なります。

●境界線より外側に映る物は、内側に映る物に比べて、実際よりも遠くにあるように見えます。

(通常のドアミラーに比べて遠くにあるように見えます。)

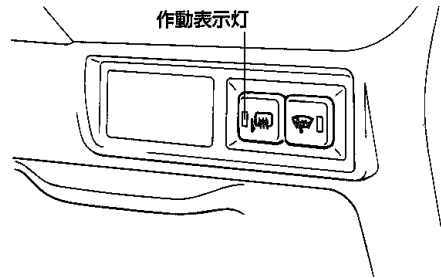
ミラーヒータースイッチ★

ドアミラーの鏡面を暖めて、霜、露、雨滴などを取り除きます。

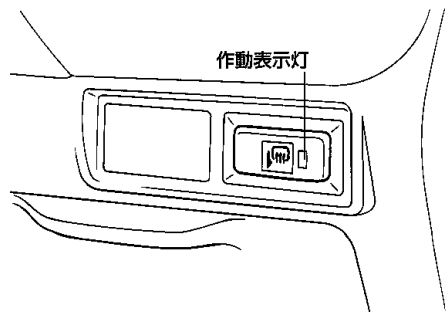
エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
- 作動中は作動表示灯が点灯します。

熱線入りフロントウィンドウシールドガラス付き車



熱線入りフロントウィンドウシールドガラス付き車を除く



🎓 知識

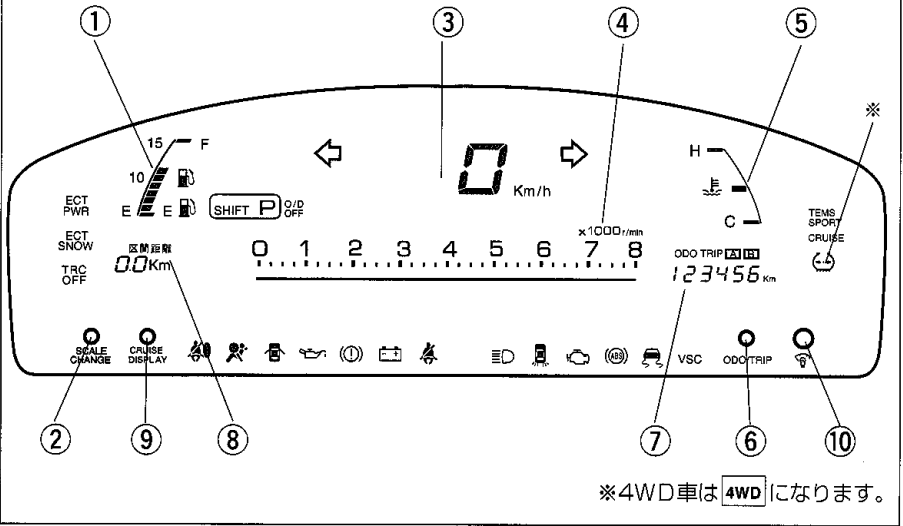
連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

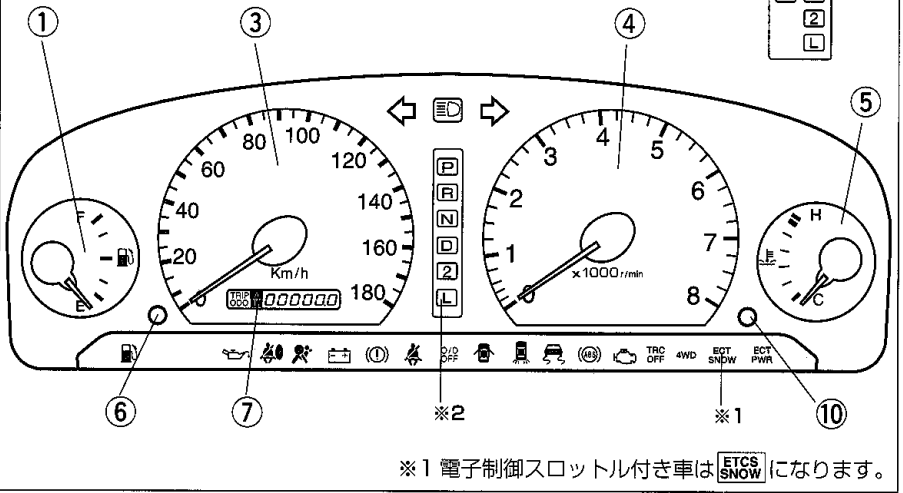
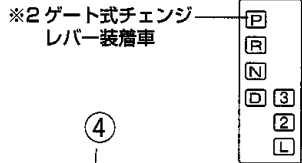
メーター、表示灯、警告灯の見方

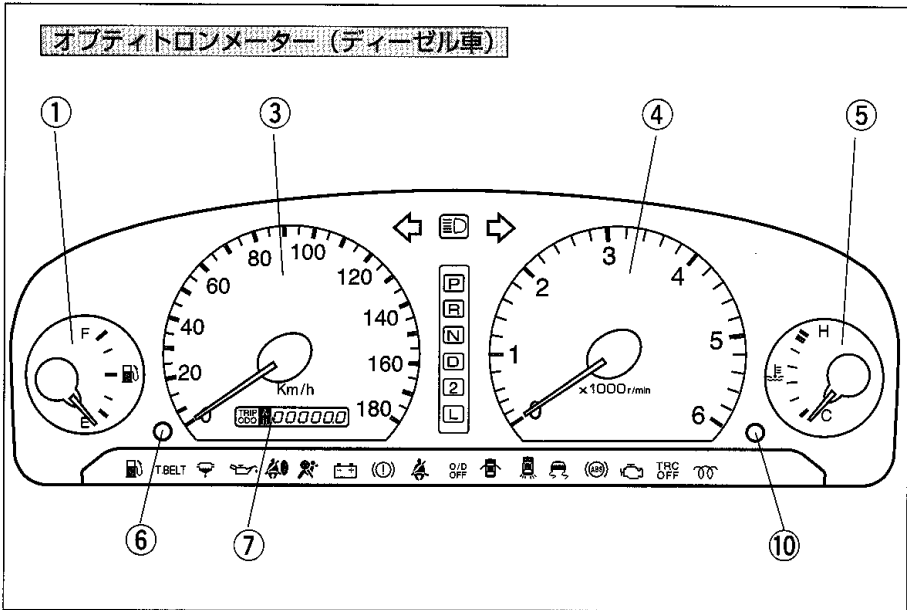
メーター

デジタルメーター



アナログメーター (ガソリン車)





- ①燃料計
- ②燃料計拡大表示ボタン
- ③スピードメーター
- ④タコメーター
- ⑤水温計
- ⑥オドメーター・トリップメーター切り替えボタン
(トリップメーターリセットボタン)
- ⑦オドメーター、トリップメーター
- ⑧クルーズインフォメーションディスプレイ
- ⑨クルーズインフォメーションディスプレイ表示切り替えボタン
- ⑩メーター照度調整スイッチ

図ではすべてのグレード・エンジン等における警告灯・表示灯を掲載しています。実際のお車に設定される警告灯・表示灯はグレード・エンジン等により異なります。

水温計

エンジンスイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。



アドバイス

指針（表示）がHのレッドゾーンにはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、205ページの「オーバーヒートしたときは」にしたがって処置をしてください。

スピードメーター

車両の走行速度を示します。

タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。



アドバイス

指針（表示）がレッドゾーン（エンジンの許容回転数を越えている範囲）にはいらないように運転してください。指針（表示）がレッドゾーンにはいる運転を続けるとエンジンなどに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。

燃料計

燃料残量を示します。
燃料補給後、指示が安定するまで少し時間がかかります。
燃料タンク容量は70ℓです。



知識

オブティロンメーターは、坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため指針が振れることがあります。

■拡大表示

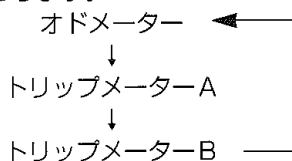
デジタルメーター

燃料計拡大表示ボタンを押すと、数秒間約15ℓ以下の残量を拡大表示します。

オドメーター、トリップメーター

■オドメーター・トリップメーター切り替えボタン

- ボタンを押すごとに次のように表示が切り替わります。



■オドメーター

走行した総距離をkmの単位で示します。

■トリップメーター

2種類の区間距離（トリップA、トリップB）を、kmの単位で示します。



知識

バッテリーとの接続が断たれたときは、トリップメーターは0になります。

- トリップメーターを0にもどすときはオドメーター・トリップメーター切り替えボタンを押し続けます。

クルーズインフォメーション ディスプレイ

デジタルメーター

エンジンスイッチがONのとき次の数値を、メーター内に表示します。

■区間走行距離 (00km)

エンジンスイッチをONにし、走行し始めてからの走行距離を表示します。

■区間走行時間 (00:00)

エンジンスイッチをONにしたときからの時間を表示します。

■平均車速 (00km/h)

エンジンスイッチをONにし、走行し始めてからの平均車速を10秒毎に更新して表示します。

■平均燃費 (00km/ℓ)

エンジンスイッチをONにし、走行し始めてからからの平均燃費を10秒毎に更新して表示します。

■瞬間燃費 (00km/ℓ)

エンジン回転中、2秒間毎の瞬間燃費を表示します。

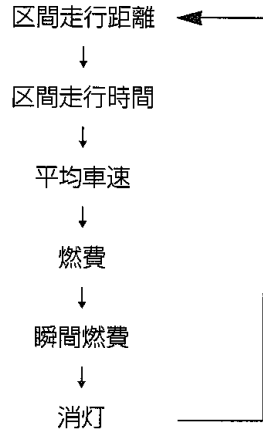
知識

次の場合、瞬間燃費表示は「--km/ℓ」になります。

- エンジンが回転していないとき
- 燃費の計測ができなかったとき

クルーズインフォメーション ディスプレイ切り替えボタン

- ボタンを押すごとに次のように表示が切り替わります。



メーター照度調整スイッチ

デジタルメーター

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

ダイヤルを右にまわすとメーター照明が明るくなり、左にまわすと暗くなります。

知識

カチッと音がするまで右いっぱいにもわすとライトスイッチをONにしたとき減光されません。

オブティロンメーター

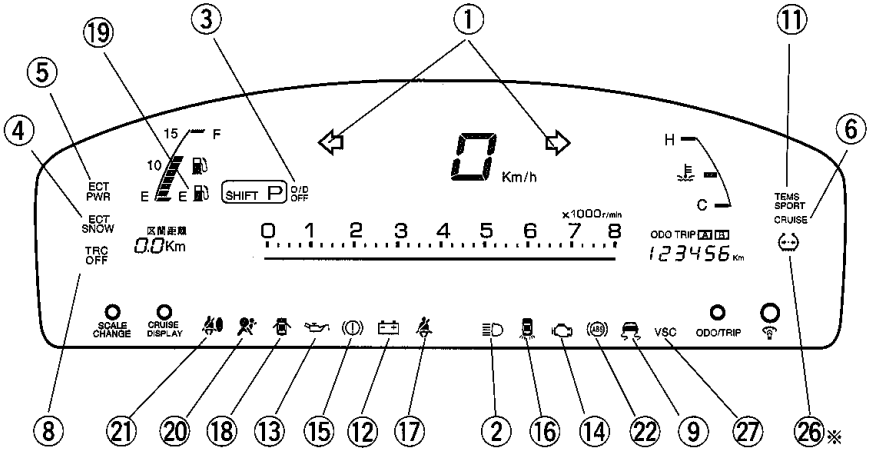
エンジンスイッチがONのとき使用できます。

スイッチを押すと、ライトスイッチをONにしたとき、メーター照明が減光されます。もう一度押すと、ライトスイッチをONにしても減光されません。

詳しくは101ページをご覧ください。

表示灯、警告灯

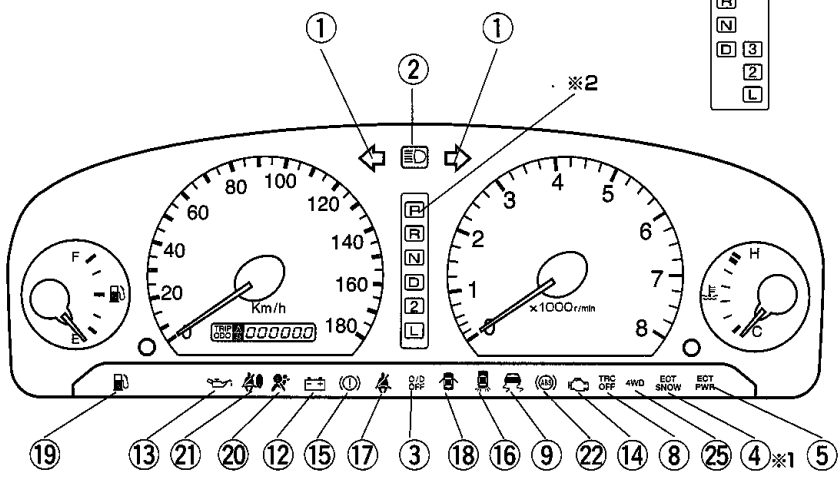
デジタルメーター



※4WD車は②5 4WDになります。

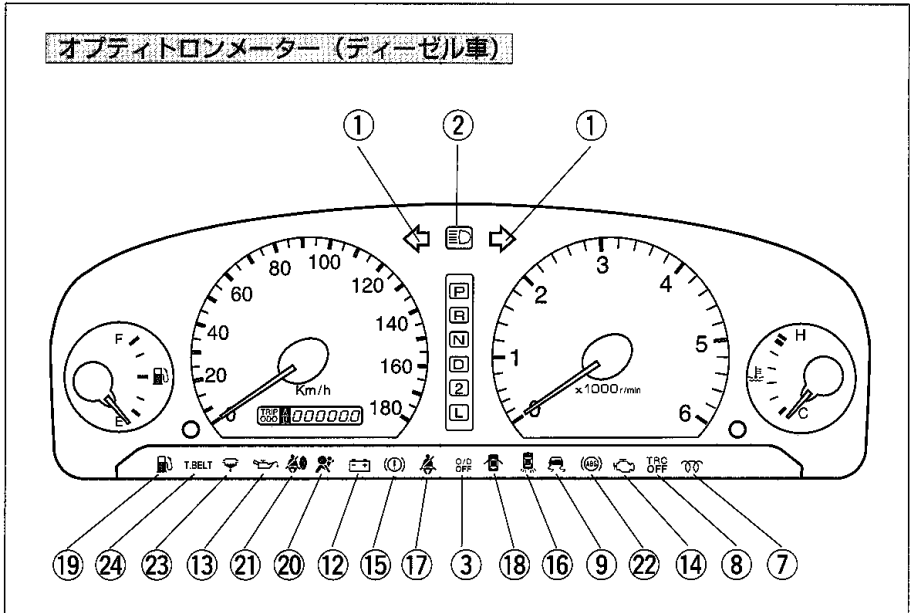
アナログメーター (ガソリン車)

※2 ゲート式チェンジレバー装着車



※1 電子制御スロットル付き車は⑩ ECTS SNOW になります。

オブティロンメーター (ディーゼル車)



- | | |
|---------------------|------------------|
| ① 方向指示表示灯 | ⑬ 油圧警告灯 |
| ② ヘッドランプ上向き表示灯 | ⑭ エンジン警告灯 |
| ③ オーバードライブOFF表示灯 | ⑮ ブレーキ警告灯 |
| ④ ECT SNOW表示灯 | ⑯ 断線警告灯 |
| ⑤ ECT PWR表示灯 | ⑰ シートベルト非着用警告灯 |
| ⑥ クルーズコントロール表示灯 | ⑱ 半ドア警告灯 |
| ⑦ 予熱表示灯 | ⑲ 燃料残量警告灯 |
| ⑧ TRCOFF表示灯 | ⑳ SRSエアバッグ警告灯 |
| ⑨ スリップ表示灯 | ㉑ SRSサイドエアバッグ警告灯 |
| ⑩ 電子制御スロットル SNOW表示灯 | ㉒ ABS警告灯 |
| ⑪ TEMS表示灯 | ㉓ 燃料・水分離器水位警告灯 |
| ⑫ 充電警告灯 | ㉔ タイミングベルト交換警告灯 |
| | ㉕ 4WD警告灯 |
| | ㉖ タイヤ空気圧警告灯 |
| | ㉗ VSC警告灯 |

図ではすべてのグレード・エンジン等における警告灯・表示灯を掲載しています。実際のお車に設定される警告灯・表示灯はグレード・エンジン等により異なります。



方向指示表示灯

方向指示灯、非常点滅灯を作動させると点滅します。



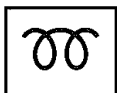
アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。方向指示灯が点滅するか確認してください。



ヘッドランプ上向き表示灯

ヘッドランプを上向きにすると点灯します。



予熱表示灯

ディーゼル車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、予熱プラグの加熱が完了すると消灯します。

O/D
OFFオーバードライブ
OFF表示灯オートマチック車のストレート式
チェンジレバー装着車

オーバードライブスイッチをOFFにすると点灯します。(113ページ参照)



アドバイス

走行中（オーバードライブスイッチがONのとき）オーバードライブOFF表示灯が点滅したときはオートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

ECT
SNOW

ECT SNOW表示灯

ECT SNOWスイッチ付き車

ECTパターンセレクトスイッチを押し、SNOW（スノーモード）を選択したときに点灯します。(114ページ参照)

**ECT
PWR****ECT PWR表示灯****ECT PWRスイッチ付き車**

ECTパターンセレクトスイッチを押してPWR（パワーモード）を選択したときに点灯します。（114、116ページ参照）

**アドバイス**

ゲート式チェンジレバー装着車は、走行中ECT表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

CRUISE**クルーズコントロール表示灯****クルーズコントロール付き車**

クルーズコントロールをセットすると点灯します。（118ページ参照）

**アドバイス**

定速走行中にクルーズコントロール表示灯が点滅したときは、メインスイッチを一度OFFにしてから再度セットしてください。

以上の操作をしても、セットできないまたはセットしてもすぐ解除される場合はシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

**TRC
OFF****TRC OFF表示灯****トラクションコントロール付き車、
電子制御スロットル付き車**

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

TRC OFFスイッチを押してトラクションコントロールシステムを作動停止状態にすると点灯します。

（55、57ページ参照）

**アドバイス**

TRC OFF表示灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
- TRC OFF表示灯が点滅したままのとき
- トラクションコントロールが作動可能状態でTRC OFF表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき

知識**3000車(ハイドロプスター付き車)**

- エンジン始動時、約60秒間TRC OFF表示灯が点滅することがありますが、その後、消灯すれば異常ではありません。
- 繰り返しブレーキペダルを踏むとTRC OFF表示灯が点灯することがありますが、数秒後に消灯すれば異常ではありません。



スリップ表示灯

トラクションコントロール付き車、
電子制御スロットル付き車、
VSC付き車、4WD車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
エンジン回転中の次のときに点滅します。

- トラクションコントロールシステムが作動したとき。
(トラクションコントロール付き車
.....55ページ参照)
(電子制御スロットル付き車
.....57ページ参照)
- 車両が横すべりしそうになったとき。
(VSC付き車59ページ参照)
- タイヤがスリップしたとき。
(4WD車121ページ参照)



アドバイス

表示灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき。

ETCS
SNOW

電子制御スロットル SNOW表示灯

電子制御スロットル付き車

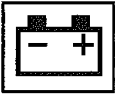
エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
ETCS SNOWスイッチを押して、SNOWモードを選択したときに点灯します。(57ページ参照)

TEMS
SPORT

TEMS表示灯

スカイフックTEMS付き車

エンジンスイッチがONのとき、スイッチを押して、スカイフックTEMSのスポーツモード(SPORT)を選択すると点灯します。(117ページ参照)



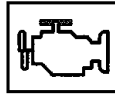
充電警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、Vベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。



エンジン警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。



油圧警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると点灯します。

オイル量の点検はオイルレベルゲージにより行ってください。

(点検方法は「メンテナンスノート」を参照してください。)



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めて、エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、トヨタ販売店へご連絡ください。



燃料・水分離器水位警告灯

ディーゼル車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、燃料・水分離器内に規定レベル以上の水がたまると点灯します。



アドバイス

点灯したまま走行を続けしないでください。噴射ポンプが焼きつきエンジンを損傷するおそれがあります。点灯したときは、すみやかに排水してください。(178ページ参照)

T-BELT

タイミングベルト交換警告灯

ディーゼル車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。走行距離が10万kmをこえるとエンジン回転中に点灯し、タイミングベルトの交換時期であることをお知らせします。



アドバイス

- 点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検をうけてください。
- 点灯したまま走行を続けると、タイミングベルトが切れてエンジンを損傷するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

エンジンスイッチがONで次のような場合に点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液の不足
- ブレーキブースター< hidro booster >系統の異常。(3000車)
- ブレーキブースター< ブレーキ倍力装置 >系統の異常。(ディーゼル車)

⚠ 注意

3000車(hidro booster 付き車)

- 次のような場合は、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
 - パーキングブレーキを解除しても点灯したままのとき
 - 点灯と同時にブレーキ警告ブザーが鳴ったとき
- この場合ブレーキの効きが悪くなおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。

3000車を除く

- エンジン回転中にパーキングブレーキを解除しても、ブレーキ液を補給しても点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
- この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。



知識

3000車(ハイドロブースター付き車)

- エンジン始動時、約60秒間ブレーキ警告灯が点灯することがありますが、その後、消灯すれば異常ではありません。
- くり返しブレーキペダルを踏むとブレーキ警告灯が点灯し、ブレーキ警告ブザーが鳴ることがありますが、数秒後に消灯すれば異常ではありません。
- エンジン始動時やくり返しブレーキペダルを踏むとエンジンルームから“ウィーン”、“トン”など音がすることがありますが、これはブレーキ装置のポンプなどの作動音であり、異常ではありません。

ブレーキパッドウェアインジケーター

ブレーキ(ブレーキパッド)が摩耗したとき、キーキー音により運転者に知らせます。走行中、異音(キーキー音)が発生したときはただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■警告ブザー

3000車(ハイドロブースター付き車)

ブレーキの効き低下につながる異常があると、ブレーキ警告灯の点灯と同時にブレーキ警告ブザーの連続音で警報します。

ディーゼル車

オルタネーター用ベルトに異常があると、ブザーが鳴ります。

⚠ 注意

- エンジン回転中にブザーが鳴ったときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
- この場合、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。



知識

ディーゼル車では、エンジンスイッチがONで次のような場合、ブザーが鳴ることがありますが異常ではありません。この場合エンジンをかけると止まります。

- エンジン停止状態が続いたとき
- エンジnstしたとき



断線警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。エンジン回転中、次のときに尾灯または制動灯の電球が切れていることを感知して点灯します。

- 尾灯はライトスイッチをONにしたとき
- 制動灯はブレーキペダルを踏んだとき



半ドア警告灯

いずれかのドアが確実に閉まっていないときに点灯します。

⚠ 注意

警告灯が点灯したまま走行しないでください。ドアが確実に閉まっていないため、走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。



シートベルト非着用警告灯

エンジンスイッチがONのとき運転席シートベルトを着用していないと点滅します。



燃料残量警告灯

エンジンスイッチがONのとき残量が約10ℓ以下になると点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。

🎓 知識

オプティロンメーターは、坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため警告灯が早めに点灯することがあります。



SRSエアバッグ警告灯

エンジンスイッチをONまたはACCにすると点灯し、数秒後に消灯します。その後、SRSエアバッグシステムに異常があると点灯します。

⚠ 注意

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき



SRSサイドエアバッグ警告灯

エンジンスイッチをONまたはACCにすると点灯し、数秒後に消灯します。その後、SRSエアバッグシステムに異常があると点灯します。

⚠ 注意

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき



ABS警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

その後、ABSシステムに異常があると点灯します。

ABS警告灯が点灯しているときには、ABSは作動しませんが通常のブレーキとしての性能は確保されています。

知識

3000車(ハイドロブースター付き車)

- エンジ始動時、約60秒間ABS警告灯が点灯することがありますが、その後、消灯すれば異常ではありません。
- くり返しブレーキペダルを踏むとABS警告灯が点灯することがありますが、数秒後に消灯すれば異常ではありません。

注意

3000車(ハイドロブースター付き車)

- ABS警告灯点灯中に次のようになったときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
 - ブレーキ警告灯(⚠)も点灯し、パーキングブレーキを解除しても点灯したままのとき
 - ブレーキ警告灯(⚠)点灯と同時にブレーキ警告ブザーが鳴ったとき
- この場合、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。



アドバイス

ABS警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
 - 走行中に点灯したとき
- なお、走行中に点灯しても、その後消灯し再度点灯しなければ正常です。

VSC**VSC警告灯****VSC付き車**

エンジンスイッチをONにすると点灯し数秒後に消灯します。

その後VSCシステムに異常があると点灯します。(59ページ参照)

**アドバイス**

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
 - 点灯したままになっているとき
- なお、警告灯が点灯しているときはVSCは作動しませんが、通常の走行には支障ありません。

**知識****3000車(ハイドロブースター付き車)**

- エンジン始動時、約60秒間VSC警告灯が点灯することがありますが、その後、消灯すれば異常ではありません。
- くり返しブレーキペダルを踏むとVSC警告灯が点灯することがありますが、数秒後に消灯すれば異常ではありません。

4WD**4WD警告灯****4WD車**

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

その後4WDシステムに異常があると点灯します。

**アドバイス**

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

**タイヤ空気圧警告灯****タイヤ空気圧警報システム付き車**

エンジンスイッチをONにすると点灯し数秒後に消灯します。

走行中、タイヤ空気圧が低下すると点灯します。

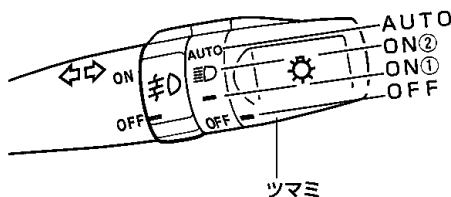
点灯したときは、ただちに空気圧を調整してください。(123ページ参照)

視界の確保

ライトスイッチ

コンライト（自動点灯・消灯装置）

GLを除く



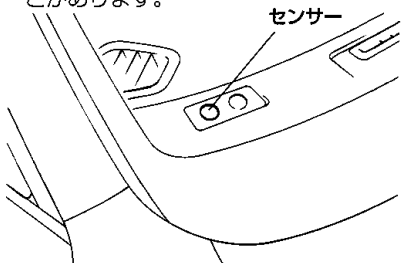
■自動で使うときは

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- ツマミをAUTOの位置にまわすと、周囲の明るさに応じてヘッドランプ、車幅灯などが自動で点灯・消灯します。
- エンジンを止め、運転席ドアを開くと自動的に消灯します。エンジンスイッチをONにすると再び点灯します。

■知識

- ランプの点灯・消灯が早いまたは遅いと感じたときは、感度の調整ができますのでトヨタ販売店へご相談ください。
- コンライトのセンサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけると、センサーが正常に作動しなくなることがあります。



■手で使うときは

エンジンスイッチに関係なく使用できます。

ツマミをまわすとON①、ON②の位置で、下表○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	①	②
ヘッドランプ	—	○
車幅灯、尾灯	○	○
番号灯	○	○
メーター照明灯	○	○

■ヘッドランプを上向きに切り替えるには

ライトスイッチがON②の位置のとき、およびAUTOの位置でヘッドランプが点灯しているときレバーを前方に押しします。

ヘッドランプが上向きときはメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

■パッシング（追い越し合図）するには

ライトスイッチがOFFでもレバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向きとなります。

メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

■知識

完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯すると、バッテリーあがりの原因となります。

■ランプオートカットシステム

ツアラーV、ツアラーS、ツアラー

ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にして運転席ドアを開くとランプ類を自動で消灯します。

- 次の操作をすると、再び点灯します。
 - エンジンスイッチをONにする。
 - ライトスイッチをOFFにし、もう一度ONにする。(この場合ドアを開けてもライトは消灯しません。)

■ライト消し忘れ警告ブザー

ツアラーV、ツアラーS、ツアラーを除く

ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチからキーを抜いて運転席ドアを開くとランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

ディスチャージヘッドランプ

ツアラーV、ツアラーS、ツアラー

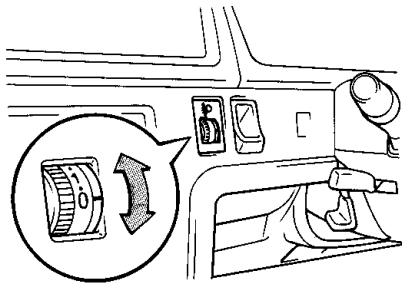
ディスチャージヘッドランプは、ランプ管内のガスと金属ヨウ化物を使って発光させ、通常のランプより白い光と伸び、広がりのある配光を持つランプです。

- ヘッドランプのロービームに装着されています。

■光軸上下調整

ディスチャージヘッドランプ（ロービーム）の光軸方向（光の照らす方向）を下向きに調整できます。

ヘッドランプ（ロービーム）が点灯しているときに使用できます。



- 通常は0の位置（光軸がいちばん上向きの位置）で使用します。
- 荷物や人を載せることにより車両前面が上を向いて、ヘッドランプの照らす範囲がいつもとちがう（いつもより上向きになっている）ときに、ツマミをまわしてヘッドランプの光を下向きにします。

荷物や人をおろしたあとには、必ずツマミを0の位置にもどしておいてください。

⚠警告

ディスチャージヘッドランプバルブを交換するときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いをすると感電のおそれがあり危険です。

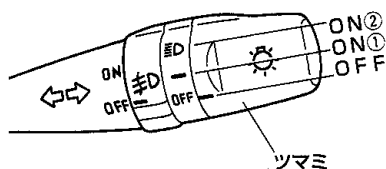
📖知識

車検などで光軸調整をするときは光軸上下調整ツマミを0の位置（いちばん上向きの位置）にしてから行ってください。

手動式

GL

エンジンスイッチに関係なく点灯・消灯できます。



ツマミをまわすとON①、ON②の位置で、下表○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	①	②
ヘッドランプ	—	○
車幅灯、尾灯	○	○
番号灯	○	○
メーター照明灯	○	○

■ヘッドランプを上向きに切り替えるには

ライトスイッチがON②の位置のときレバーを前方に押します。

ヘッドランプが上向きときはメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

■パッシング（追い越し合図）するには

ライトスイッチがOFFでもレバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向き点灯します。

メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

■ライト消し忘れ警告ブザー

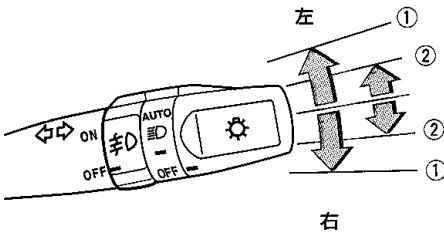
ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチからキーを抜いて運転席ドアを開くとランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

知識

完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯すると、バッテリーあがりの原因となります。

方向指示レバー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。



①レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯が点滅します。メーターにある方向指示表示灯も点滅します。

レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

②車線変更などのときには、レバーを軽く上または下へ押さえている間、それぞれの方向指示灯および方向指示表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。



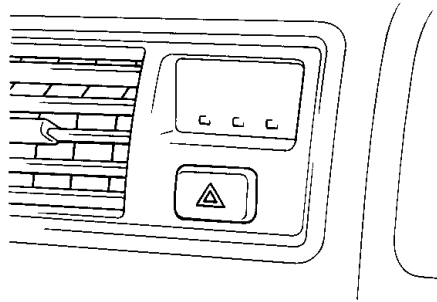
アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。方向指示灯が点滅するか確認してください。

非常点滅灯スイッチ

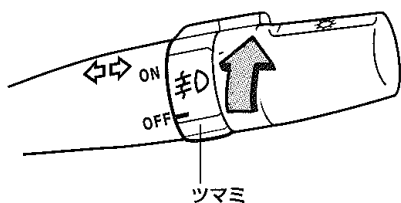
故障などでやむを得ず、路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。

●スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。メーター内にある方向指示表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



フロントフォグランプスイッチ

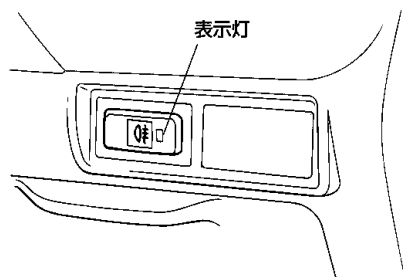
ライトスイッチがON①、ON②の位置のとき、およびAUTOで車幅灯が点灯しているとき使用できます。
ツマミをONの位置にまわすと点灯し、OFFの位置にまわすと消灯します。



リヤフォグランプスイッチ★

フロントフォグランプまたはヘッドランプが点灯しているときに使用できます。
スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

●リヤフォグランプが点灯しているときは、スイッチの表示灯が点灯します。



知識

- リヤフォグランプが点灯しているときにヘッドランプまたはフロントフォグランプを消灯しても、車幅灯が点灯していればリヤフォグランプは消灯しません。
- リヤフォグランプが点灯しているときにライトスイッチをOFFにして車幅灯を消灯すると、リヤフォグランプも消灯します。
- コンライト付き車は、ライトスイッチのツマミがAUTOの位置でリヤフォグランプを点灯させた場合、エンジンを止め、運転席ドアを開くと、リヤフォグランプも消灯します。
- リヤフォグランプが消灯した後に、再度点灯させるためには、リヤフォグランプスイッチの操作が必要です。
- 視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。

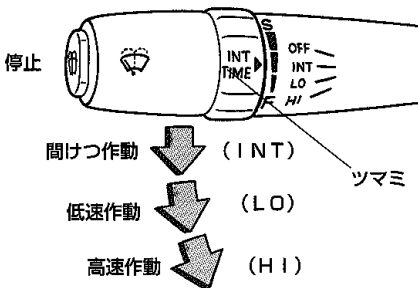
ワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

フロント

■ワイパーの使い方

レバーを操作すると、下のように作動します。



間けつ作動のときツマミをまわすと、間けつ時間を約3～12秒の間で調整できます。

■ウォッシャー液の噴射方法

レバー先端についているスイッチを押します。

ワイパーが2～3回作動します。

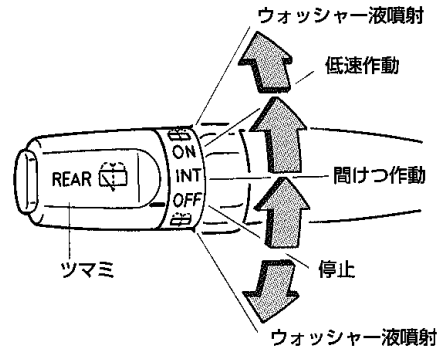
⚠ 注意

寒冷時は、ウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントガラスに凍りつき視界不良をおこすおそれがあります。



リヤ★

■ワイパーの使い方

ツマミを図のようにまわすと作動します。



■ウォッシャー液の噴射方法

- 低速作動中にウォッシャー液を噴射させるときはOFFの位置から上の  側にまわします。
- ツマミをOFFの位置から下の  側にまわすとウォッシャー液が噴射されます。



アドバイス

- ウィンドウガラスが凍結しているときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張りついていないことを確認してください。ガラスに張りついたまま作動させるとワイパーゴムを損傷するおそれがあります。
- 必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。ガラスが乾いているときにワイパーを作動させるとガラスを傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。



知識

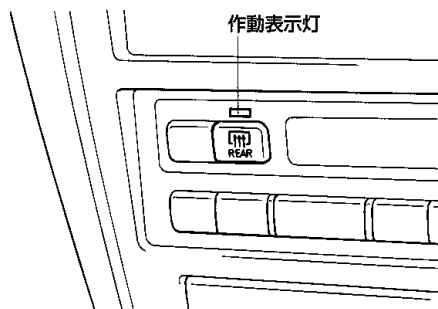
ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。10分ほどすると、ブレーカーが復帰して、通常どおり使用できるようになります。

リヤウィンドウデフォグガー (曇り取り)スイッチ

リヤウィンドウガラスを熱線で暖めて曇りを取ります。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
 - 作動中は作動表示灯が点灯します。



知識

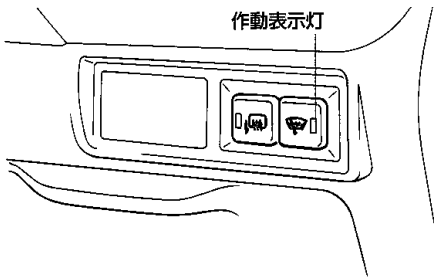
連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

熱線入りフロントウィンドウ シールドガラススイッチ★

フロントウィンドウガラス下部の表面を暖めてガラスとワイパーブレードの凍結を防止します。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
 - 作動中は作動表示灯が点灯します。



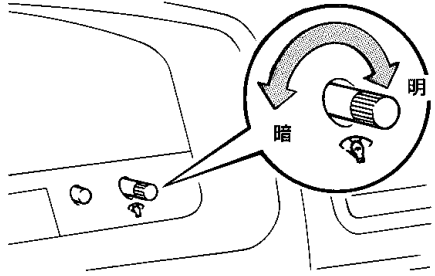
知識

連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

メーター照度調整スイッチ

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

デジタルメーター

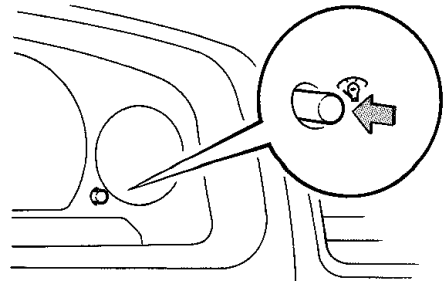


- ダイヤルを右にまわすとメーター照明が明るくなり、左にまわすと暗くなります。
- ライトスイッチをONにすると減光されます。

知識

カチッと音がするまで右いっぱいにもわすとライトスイッチをONにしたとき減光されません。

オフディトンメーター

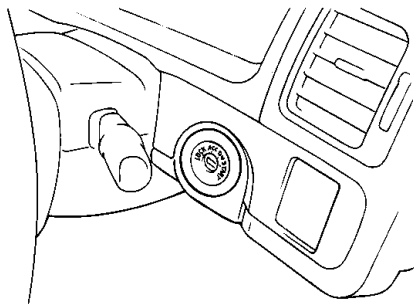


スイッチを押すと、ライトスイッチをONにしたとき、メーター照明が減光されます。もう一度押すと、ライトスイッチをONにしても減光されません。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

運転装置

エンジンスイッチ



各位置の働き

LOCK
(ロック)

キーを抜き差しできる位置。
キーを抜くとハンドルが
ロックされます。

ACC
(アクセサリー)

エンジン停止時、次のもの
が使用できる位置。
オーディオ、シガレットライ
ター、電動リモコンミラー

ON
(オン)

エンジン回転中の位置。
ディーゼル車は始動時に予熱
表示灯が点灯します。
(次ページ参照)

START
(スタート)

エンジンを始動する位置。

LOCKからACCにまわすときにキー
がまわりにくいときは、ハンドルを軽く
左右にまわしながらキーをまわします。

■ACCからLOCKにまわすとき
マニュアル車はキーを押しながらまわし
ます。
オートマチック車はチェンジレバーをP
の位置にしてキーをまわします。

知識

エンジン停止時はエンジンスイッチをON
またはACCのまま長時間放置すると、
バッテリーあがりの原因となります。

エンジンのかけ方

エンジンをかけるまえに

- 1 パーキングブレーキをかけていることを確認します。
- 2 チェンジレバーがマニュアル車は**N**、オートマチック車は**P**の位置にあることを確認します。
(オートマチック車は**N**でも始動できますが、安全のため**P**で行ってください。)

エンジンのかけ方

■ガソリン車

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 2 アクセルペダルは踏まずにエンジンスイッチをスタート位置にまわしエンジンを始動します。
マニュアル車はクラッチペダルをいっばいに踏み込んで行います。

■ディーゼル車

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 2 エンジンスイッチをONにします。
予熱表示灯が点灯します。



アドバイス

予熱表示灯が点灯しているときにエンジンをかけると、バッテリーの寿命に悪影響をおよぼします。消灯してからエンジンをかけてください。



知識

表示灯の点灯時間は、エンジンが冷えていると長くなります。

- 3 予熱表示灯が消灯したら、アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをスタート位置にまわし、エンジンを始動します。
●マニュアル車はクラッチペダルをいっばいに踏み込みます。



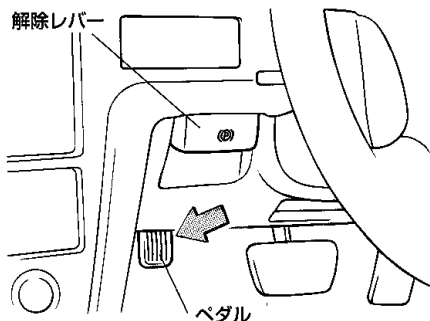
アドバイス

ディーゼル車で極寒時は、アクセルペダルをいっばいに踏み込んだまま30秒を限度にエンジンがかかるまでエンジンスイッチをまわし続けてください。30秒間始動してもかからないときは、エンジンスイッチをACCにもどし、20秒以上待ってから再始動してください。

パーキングブレーキ

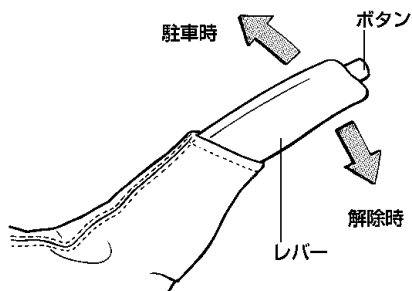
足踏み式

駐車するときは右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。解除するときは解除レバーを引きます。



センターレバー式

駐車するときはボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引きます。解除するときはレバーを少し引き上げながら先端のボタンを押さえて、完全に下までもどします。




⚠ 注意

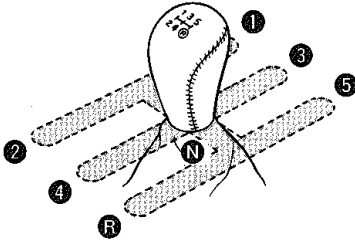
パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。

ブレーキ部品が早く摩耗したりブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

ホーン

ハンドルの  マーク周辺部を押すとホーン（警音器）が鳴ります。

マニュアルトランスミッション



■駐車するときは

パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーを平地や下り坂では**R**、上り坂では**1**の位置にします。

■**R**にいれるときは

誤操作を防ぐため**5**→**R**へは直接入れることができません。いったん**N**にしてから**R**へいれます。



アドバイス

車両が動いているときは**5**に入れないでください。車が完全に止まってから操作しないとトランスミッションを損傷するおそれがあります。

■各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

(単位：km/h)

エンジン型式 シフト位置	1G-FE	1JZ-GTE
1速	45	55
2速	80	90
3速	125	140
4速	160	180
5速	180	180

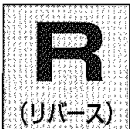
オートマチックトランスミッション

ストレート式チェンジレバー

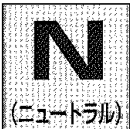
各位置の働き



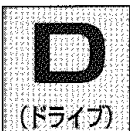
駐車およびエンジン始動
車輪が固定されます。駐車
のときは必ず**P**にしてくだ
さい。**(P)**のみエンジンスイ
ッチからキーが抜けます。



後退
ギヤが後退に固定されま
す。ブザーが鳴り**R**にあ
ることを運転者に知らせ
ます。



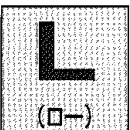
動力が伝わらない状態
Nでもエンジンは始動
できませんが、安全のため
Pで行ってください。



通常走行
スピードに応じてギヤが
自動的にかわります。
●O/DスイッチがONの時
きは、1速から4速まで
●O/DスイッチがOFFの
ときは、1速から3速まで

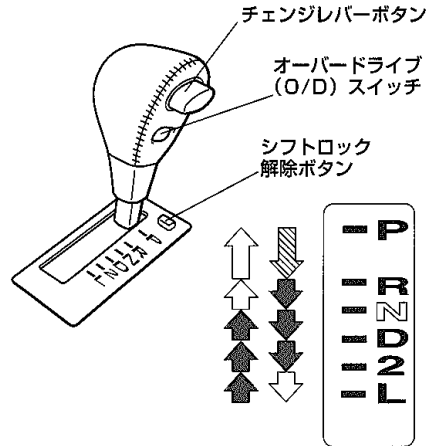


下り坂走行
エンジンブレーキが必要
な場合に使います。



急な下り坂
強力なエンジンブレーキ
が必要な場合に使います。

チェンジレバーの動かし方



- チェンジレバーボタンを押さず
にそのまま操作します。
- チェンジレバーボタンを押して
操作します。
- ブレーキペダルを踏んだまま、
チェンジレバーボタンを押して
操作します。

警告

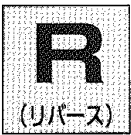
⇒の操作はチェンジレバーボタンを押さず
に操作してください。いつもレバーボタン
を押して操作していると意に反して**P**、**R**
または**L**にいれてしまい、思わぬ事故の原
因となり重大な傷害を受けるおそれがあり
危険です。

ゲート式チェンジレバー

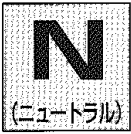
各位置の働き



駐車およびエンジン始動
車輪が固定されます。駐車
のときは必ずPにしてくだ
さい。(Pでのみエンジンス
イッチからキーが抜けます。)



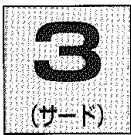
後退
ギヤが後退に固定されま
す。ブザーが鳴りRにあ
ることを運転者に知らせ
ます。



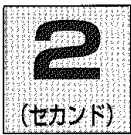
動力が伝わらない状態
Nでもエンジンは始動で
きますが、安全のためP
で行ってください。



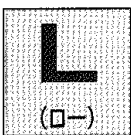
通常走行
スピードに応じてギヤが
自動的にかわります。



坂道走行
下り坂では軽いエンジ
ンブレーキが得られま
す。上り坂では変速回
数の少ないめらかな
走行ができます。

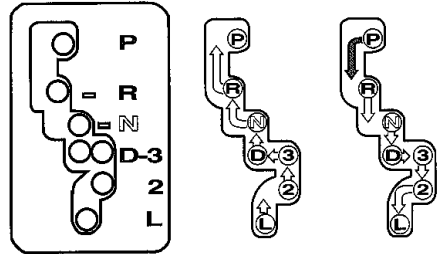
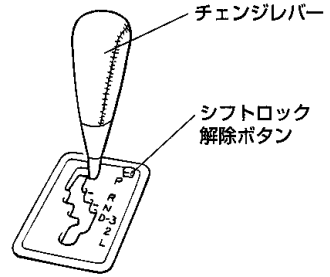


下り坂走行
エンジンブレーキが必
要な場合に使います。



急な下り坂
強力なエンジンブレー
キが必要な場合に使
います。

チェンジレバーの動かし方



↓↑ ブレーキペダルを踏んだまま、
チェンジレバーをゲートにそ
って操作します。

↓↑ チェンジレバーをゲートにそ
ってそのまま操作します。

 知識

■シフトロックシステム

オートマチック車でのチェンジレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- ブレーキペダルを踏んだ状態でなければ
Pからレバー操作できません。
 - エンジンスイッチが、ACCまたはLOCKのときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。
- ストレート式チェンジレバー装着車**では、チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。
- ゲート式チェンジレバー装着車**では、チェンジレバーを助手席側に倒したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。
- P**以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。
 - エンジンスイッチからキーを抜くときは、チェンジレバーを**P**にいれてください。
 (**P**以外ではキーをACCからLOCKにまわせません。)
- R**にいとるとブザーが鳴ります。
 - ブザーが鳴り、**R**にあることを運転者に知らせます。
 - 車外の人には音は聞こえませんが注意ください。
 (車外の人に対する警告音ではありません。)



アドバイス

- 万一、**P**からレバー操作できないときは
- エンジンスイッチをACCにしてシフトロック解除ボタンを押しながらレバーを操作してください。
 - シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車の特性

■クリーブ現象

エンジンがかかっているとき、チェンジレバーがP・N以外の位置にあると、動力が繋がった状態になりアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き出す現象をクリーブ現象といいます。



知識

停車中は、平坦路であっても車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

- エンジン始動直後やエアコン作動時など、自動的にエンジンの回転が上がリ（アイドルアップ）、クリーブ現象が強くなる場合がありますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリーブ現象を利用し、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節するとスムーズに行えます。

■キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、エンジンの回転数が上昇して急加速させることができます。これをキックダウンといいます。



知識

追い越し時の急加速や高速道路での合流が楽に行えます。

- すべりやすい路面やカーブ走行中では、急激なアクセルペダルの操作は避けてください。

エンジンをかけるまえに

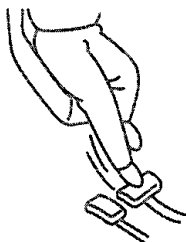
- 1 正しい運転姿勢をとりまします。
ペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シートの位置を調整してください。（34ページ参照）
- 2 アクセルペダルの位置を確認します。
- 3 ブレーキペダルの位置を右足で確認します。
踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認し、足におぼえさせておくことが重要です。

エンジン始動

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 チェンジレバーがPの位置にあることを確認します。
Nの位置でも始動できますが、安全のため車輪が固定されるPの位置で行ってください。
- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4 エンジンを始動します。

発進

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏み、チェンジレバーを操作します。



ブレーキペダルをしっかり踏んでいないとクリーブ現象により、車が動くことがあります。

とくにエンジン始動直後やエアコン作動時などはクリーブ現象が強くなるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

⚠ 警告

チェンジレバー操作は、絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 2 パーキングブレーキを解除します。
- 3 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。
マニュアル車では、発進時のスピード調節を半クラッチ操作と併用して行いますが、オートマチック車では、アクセル操作のみで行いますのでアクセル操作は慎重に行ってください。

■急な上り坂の発進

- 1 チェンジレバーの位置を目で確認します。
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏みます。
- 3 車が動き出す感触を確認してから、パーキングブレーキを解除し発進します。

走行

■通常走行

チェンジレバーを①のまま走行します。アクセルとブレーキの操作だけで、加速・減速します。

■急加速

アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンし、急加速します。

■上り坂走行

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、意に反してキックダウンし、急にエンジン回転が上がる場合があります。このようなときは、あらかじめ②にしておくと、エンジン回転数の変化が少なく、なめらかな走行ができます。

■下り坂走行

①のままですピードが出すぎるときは、坂道に応じて②または③にいれエンジンブレーキを併用します。

ストリート式チェンジレバー装着車は、オーバードライブスイッチをOFFにし、ゲート式チェンジレバー装着車はチェンジレバーを③にすることによっても軽いエンジンブレーキが得られます。フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。



知識

クルーズコントロール付き車は、クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、O/DスイッチをOFFにしてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。減速が必要なときの操作方法は119ページをご覧ください。

⚠注意

走行中にはチェンジレバーを④にしないでください。④にすると、エンジンブレーキがまったく効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

チェンジレバーを④にしたままで走行するとトランスミッションの故障の原因となるおそれがあります。

■各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

(単位：km/h)

エンジン 型式		シフト位置	
		2	L
1G-FE		90	50
1JZ- GE	FR	105	55
	4WD	95	45
1JZ-GTE		105	60
2JZ-GE		100	50
2L-TE		70	40

停車

- 1 ①のままブレーキペダルをしっかり踏みます。
エアコンは温度変化により断続的に作動します。作動中は自動的にアイドルアップし、クリーブ現象が強くなりますので、車が動き出さないようにとくに注意してください。
- 2 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
急な上り坂の停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも、車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。
ブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。
- 3 停車時間が長くなりそうなときは、チェンジレバーをPまたはNにいます。

警告

停車中の空ふかしはしないでください。
P/N以外にはっていると車が急発進し、思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあります。

停車後再発進するときはチェンジレバーが①の位置にあることをしっかり確認してから、発進してください。



アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で①のままアクセルをふかしながら止まらないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因になります。

駐車

- 1 車を完全に止めます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキを確実にかけます。
- 3 チェンジレバーをPにいます。
Pでは車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には、必ずチェンジレバーがPの位置にあることを確認してください。
- 4 エンジンを止めます。
車を離れるときは必ずエンジンを停止してください。

注意

エンジンをかけたままにしておくと、万一、チェンジレバーがP以外にはいていた場合、クリーブ現象で車がひとりりで動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだとき、急発進するおそれがあります。



アドバイス

車輪が完全に止まらないうちに、チェンジレバーをPにを入れるのはやめてください。無理な力がかかり、トランスミッションをいためることがあります。

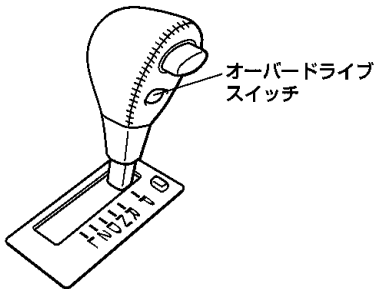
オーバードライブ (O/D) スイッチ

ストレート式チェンジレバー装着車

スイッチをONにしておくと①の位置で走行中、4速ギヤ（オーバードライブギヤ）にはいり、燃費性能と静粛性を高めます。

スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

OFFのときオーバードライブOFF表示灯（84ページ参照）が点灯します。



■スイッチがONのとき

通常走行に適します。

①の位置で走行中、4速ギヤにまではいり、燃費性能と静粛性を高めます。

■スイッチがOFFのとき

坂道走行に適します。

- 下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。
- 上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。



アドバイス

ストレート式チェンジレバー装着車では、走行中（オーバードライブスイッチがONのとき）、オーバードライブOFF表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

登降坂変速制御システム

3000車、2500車（4WD車を除く）

登坂路では変速回数を減らし、滑らかに走行することができます。また降坂路ではシフトダウン、またはフレックスロックアップシステムによりエンジンブレーキを積極的に利用し、フットブレーキの負担を軽減します。

●4速で走行しているときに、登坂していると判断されたときは、3速にシフトダウンしたあと4速へのひんばんなシフトアップを防止しています。

フレックスロックアップシステム

3000車、2500車（4WD車を除く）

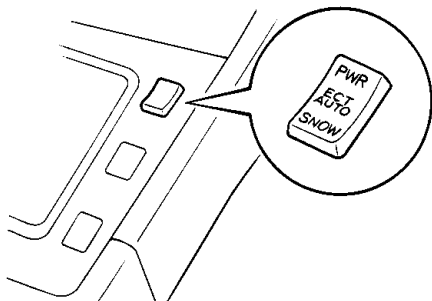
トランスミッションの伝導効率を上げ、燃費性能を高めるシステムです。

●ストレート式チェンジレバー装着車は、チェンジレバーが①（O/DスイッチのON・OFFに関係なく）の位置のとき、ゲート式チェンジレバー装着車は、チェンジレバーが②、③の位置のときに、自動的に作動します。

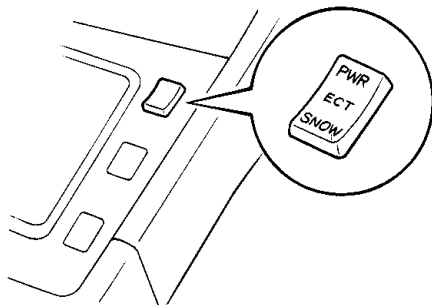
ECTパターンセレクトスイッチ （ECT SNOW付き車）

走行・使用条件にあわせて走行パターンを選択できます。

3000車



2500車（ターボ車、4WD車を除く）、
2000車



■オートモード<3000車>

■ノーマルモード

<2500車（ターボ車、4WD車を除く）、2000車>

スイッチをどちら側にも押さない状態（中立状態）にするとノーマルモードに（3000車はオートモードに）切り替わります。

表示灯は点灯しません。

●通常走行に適し、市街地での走行から高速走行まで幅広く走行できます。

■パワーモード

スイッチのPWR側を押すとパワーモードに切り替わります。

メーター内のECT PWR表示灯が点灯します。

●パワフルな運転や山間地での運転などに適しています。

■スノーモード

スイッチのSNOW側を押すとスノーモードに切り替わります。

メーター内のECT SNOW表示灯が点灯します。

●2速発進となり、雪道など、すべりやすい路面での発進に適しています。

●オートモードまたはノーマルモードにもどすときはもう一度SNOW側を押します。



知識

スノーモードを選択して走行したあと、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにすると、自動的にノーマルモードに切り替わります。

■ECT表示灯（メーター内）

ECTパターンでSNOW（スノーモード）を選択したときにはECT SNOW表示灯が点灯し、PWR（パワーモード）を選択したときにはECT PWR表示灯が点灯します。

ECT
SNOW

ECT
PWR

■AI* - SHIFT (変速点新制御)

3000車

オートモードのときに現在のドライバーの操作状態や過去の運転履歴からドライバー個々の運転指向を推定し、各ドライバーの運転に適したシフトパターンをオートモードとパワーモードから自動で選択し、切り替えます。

*AIは「Artificial Intelligence」の略で、人工知能の意味



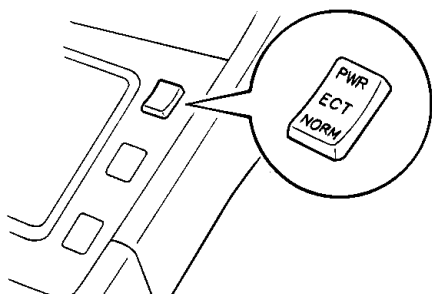
アドバイス

ゲート式チェンジレバー装着車で、走行中ECT表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

ECTパターンセレクトスイッチ (ECT SNOW付き車を除く)

2500ターボ車、4WD車

走行・使用条件にあわせて走行パターンを選択できます。



■ノーマルモード

スイッチをNORM側にするとノーマルモードに切り替わります。

表示灯は点灯しません。

通常走行に適し、市街地での走行から高速走行まで幅広く走行できます。

■パワーモード

スイッチをPWR側にするとパワーモードに切り替わります。

パワーモードのとき、メーター内のECT PWR表示灯が点灯します。

●パワーモードは次のような場合に使用します。

パワフルな運転や、山間地で運転するとき

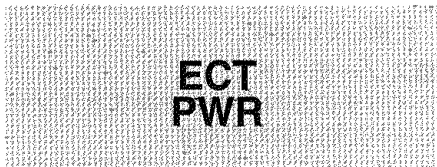
低速ギヤを使用する頻度が増え、パワフルな走行ができます。

雪道など、すべりやすい路面で発進するとき

チェンジレバーを②にすると、ギヤが2速に固定され、なめらかな発進ができます。

■ECT表示灯 (メーター内)

ECTパターンでPWR (パワーモード) を選択したときにECT PWR表示灯が点灯します。



アドバイス

ゲート式チェンジレバー装着車で、走行中ECT表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションのシステム異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

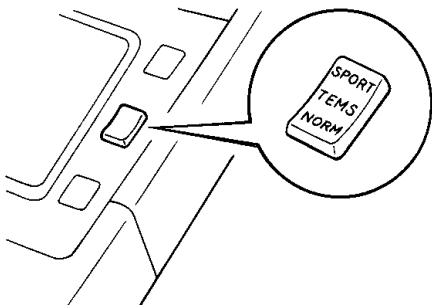
スカイブックTEMS

グランデG

ショックアブソーバーの減衰力をきめ細かくコントロールすることにより、路面の凹凸やドライバーの操作による車両挙動の変化を抑制し、乗り心地や走行安定性を向上させる装置です。

サスペンションの硬さの切り替え方

TEMS選択スイッチでサスペンションの硬さをノーマルモード（NORM）、スポーツモード（SPORT）より選択できます。



■ノーマルモード（NORM）

通常走行に適しています。

乗り心地を重視して減衰力が自動的に切り替わります。

■スポーツモード（SPORT）

スポーツ走行に適しています。

ノーマルモードより硬めに減衰力が自動的に切り替わります。

■TEMS表示灯（メーター内）

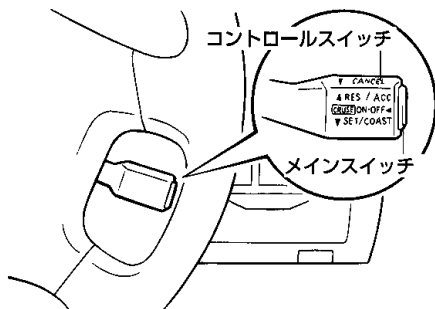
TEMS
SPORT

TEMS選択スイッチがスポーツモード（SPORT）のとき点灯します。

クルーズコントロール★

チェンジレバーが①のとき、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度（約40 km/h～100km/h）で走行できます。

■クルーズコントロールスイッチ

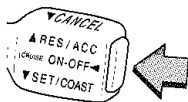


■クルーズコントロール表示灯 (メーター内)

CRUISE

セットのしかた

- 1 メインスイッチを押してONにします。
表示灯が点灯します。



- 2 希望速度まで加速または減速します。

- 3 コントロールスイッチを下げ、手を離します。



以上の操作で定速走行をはじめます。

アドバイス

定速走行中にクルーズコントロール表示灯が点滅したときは、メインスイッチを一度OFFにしてから再度セットしてください。

以上の操作をしても、セットできないまたはセットしてもすぐ解除される場合はシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

■一時的に加速、減速したいときは

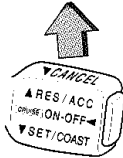
●加速したいとき

アクセルペダルを踏みます。
アクセルペダルを離せば、もとの定速走行状態にもどります。

●減速したいとき

ブレーキペダルを踏みます。
ブレーキペダルを踏むと、定速走行が解除されます。

もとの定速走行状態にもどりたいときは、コントロールスイッチを上げ、手を離します。



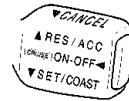
設定速度のかえ方

セットのしかたの[2]、[3]の手順でかえる方法と、次のコントロールスイッチでかえる方法があります。

[1]コントロールスイッチを操作します。

●上げ続けると増速します。

●下げ続けると減速します。



[2]希望速度になったら、手を離します。

●コントロールスイッチを上または下に軽く操作して手を離せば、設定速度の微調整(約1.5km)ができます。

解除のしかた

コントロールスイッチを手前に引くか、メインスイッチを押してOFFにします。



- 次の場合は、自動的に定速走行が解除されます。
 - ブレーキペダルを踏んだとき
 - セットした速度より車速が約16km/h以上低下したとき
 - 車速が約40km/h以下になったとき
- コントロールスイッチによる定速走行状態の解除およびブレーキペダルを踏んで解除した場合は、コントロールスイッチを上げ手を離すともとの定速走行状態にもどります。ただし、車速が約40km/h以下になると解除する前の定速走行状態にはもどりません。

知識

クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、O/DスイッチをOFFにしてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。減速が必要なときは、クルーズコントロールスイッチで減速の操作をするか、または、ブレーキペダルを踏んでください。

⚠ 注意

- クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをOFFにしてください。誤ってクルーズコントロールを作動させてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次のような状況のときはクルーズコントロールを使用しないでください。使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 交通量の多い道や急カーブのある道路の状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
 - 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - 急な下り坂
急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を越えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フルタイム4WD★

フルタイム4WD車は、常に4つのタイヤに駆動力が伝わるため、次のような走行に効果を発揮します。

- コーナリング時の走行安定性、操縦性がより高まります。
- 雪や雨などですべりやすい路面や急坂、悪路での走行安定性、操縦性がより高まります。

フルタイム4WDといっても万能車ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

走行について

オンロード専用車です。無理な運転は禁物です。

- オフロード走行やラリー走行を目的とした車ではありません。必ず以下の点をお守りください。
 - 渡河などの水中走行はしないでください。
 - すべりやすい路面での走行は慎重に行ってください。
 - 脱輪などにより前輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。

タイヤについて

フルタイム4WDは、4つのタイヤに常に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤのチェックは忘れずに行ってください。

- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
タイヤ間での摩耗差があると車の性能が十分に発揮できません。
- 4輪とも指定サイズで、同一メーカー・同一サイズ・同一銘柄およびトレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
タイヤやディスクホイールを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- タイヤの空気圧の点検は定期的に行ってください。
タイヤの空気圧が前輪と後輪で大きく異なるときは、車の性能が十分に発揮できません。
- タイヤチェーンは必ず後輪に取りつけてください。（167ページ参照）

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

無断複製禁止

スリップ表示灯（メーター内）



- エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- 走行中、タイヤがスリップすると表示灯が点滅します。

⚠ 注意

走行中表示灯が点滅したときは運転を特に慎重にしてください。
慎重に運転しないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4WD警告灯（メーター内）

4WD

- エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
その後4WDシステムに異常があると点灯します。



アドバイス

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

けん引してもらうときは

エンジンがまわっているのに車が動かなかったり、異常な音がする場合は、駆動系の故障も考えられますので、まずトヨタ販売店へご連絡してください。

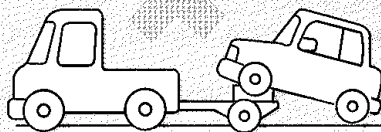
けん引してもらうときは次の事項を必ず守ってください。

- 駆動系部品が故障したと思われるときは必ず4輪を持ち上げて搬送してください。

⚠ 注意

4輪接地または4輪とも持ち上げた状態でけん引してください。

前輪または後輪だけを持ち上げたけん引は絶対にしないでください。駆動装置が焼きつきを起こしたり、車がトレッカー（台車）からとび出すおそれがあります。



- 209ページの「けん引について」もあわせてお読みください。

タイヤ空気圧警報システム

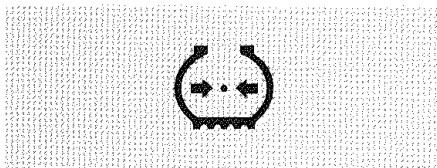
3000車

四輪のいずれかのタイヤが走行に支障をきたすような低い空気圧のままで走行を続けたときに、メーター内の警告灯を点灯させ、タイヤ空気圧の低下をお知らせします。

ただし、停車時などにはタイヤ空気圧の低下を検出しませんので、日常点検として必ずタイヤ空気圧を点検してください。

タイヤ空気圧の点検は法的にも義務づけられています。

■タイヤ空気圧警告灯（メーター内）



- エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- 走行中に点灯したときはタイヤ空気圧が低下しています。ただちに指定空気圧に調整してください。
指定空気圧は運転席ドアを開けたボデー側に貼られている「タイヤ空気圧」の表、または本書の192ページのメンテナンスデータを参照してください。
なおこの場合、タイヤ空気圧を指定空気圧に調整したあと、約30km/h以上の速度でしばらく走行すると警告灯が消灯します。
- 四輪とも指定サイズで、同一メーカー・同一サイズ、同一銘柄およびトレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用してください。



アドバイス

- 次のような場合はシステムが正常に作動しないため、タイヤ空気圧が低下しても警告灯が点灯しなかったり、タイヤ空気圧が正常であるのに警告灯が点灯したりすることがあります。
 - 指定サイズ以外のタイヤを使用したり、異なるサイズ、異なる種類のタイヤを混ぜて使用しているとき、または、四輪の中に著しく摩耗程度の異なるタイヤがあるとき。
 - 応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ、スノータイヤを使用しているときやタイヤチェーンを装着しているとき。
 - 指定空気圧より極端に高い空気圧のタイヤを使用しているときや走行中のバースト（破裂）などにより急激にタイヤ空気圧が低下したとき。
 - 極端に荒れた路面や凍結路などのすべりやすい路面を走行しているとき。また約30km/h未満の速度で走行しているとき、および約5分未満の短時間の走行。
- タイヤ、ホイールの交換を行ったときはシステムの初期調整操作が必要です。初期調整を行わないとシステムが正常に作動しなくなることがあります。操作方法は次ページの「タイヤ、ホイールを交換したときは」をご覧ください。
- これらの場合以外で、タイヤ空気圧を指定空気圧に調整したにもかかわらず、走行中に警告灯が点灯するときはシステムの異常が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■タイヤ、ホイールを交換したときは

システムの初期調整が必要です。次の手順にしたがって操作してください。

1 車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて、エンジンスイッチをOFFにします。

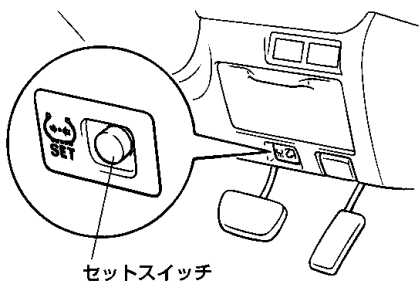
2 タイヤ空気圧を四輪とも指定空気圧に調整します。

指定空気圧は運転席ドアを開けたボデー側に貼られている「タイヤ空気圧」の表、または本書の192ページのメンテナンスデータを参照してください。

3 エンジンスイッチをONにします。

4 車を停車したままで、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が3回点滅するまでセットスイッチを押し続けてください。

- セットスイッチは運転席インストルメントパネル右下にあります。



5 しばらく走行するとシステムがタイヤ空気圧の正常状態を検知し、初期調整が完了して作動可能となります。

アドバイス

- 指定空気圧に調整せずにセットスイッチによる初期調整を行うと、正常状態のタイヤ空気圧を検知できないため、タイヤ空気圧が低下しても警告灯が点灯しなかったり、タイヤ空気圧が正常であるのに警告灯が点灯することがあります。
- 走行中にセットスイッチを押しても初期調整は行われません。
- セットスイッチを押し続けても警告灯が点滅しないときは、システムの異常が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。